



育てよう！縄文の森プロジェクト



▲赤城自然園の協力のもと実施します

このプロジェクトは、縄文時代の植生を市民の手で種から育て、当時の自然環境を復元する「植樹プログラム」と、縄文時代に利用されていた植物を使い、自然と共に生きる人間の力を再確認する「体験活用プログラム」で構成されています。参加方式は、「親子参加型」、「市民協働型」、「市民参加型」の3つがあり、幅広い世代の人が、ふるさとへの愛着を深め、地域の歴史や自然との具体的な関わりを持つことができます。

植樹プログラム



史跡に植樹する予定の植物を、自生木から木の実を採取し、木の実から苗木を育成して、最終的に史跡の植栽として植樹を行うプログラムです。縄文時代に盛んに利用された「どんぐり」をはじめとした堅果類等8種の育成を、市民と共に実施します。

育成する主な樹種 コナラ・ミズナラ・クヌギ・シラカシ・スダジイ・クリ・クルミ・トチノキ

体験活用プログラム



「どんぐりを食べてみよう」、「どんぐりで染めてみよう」、「石皿でどんぐりを粉にしよう」等のどんぐりの利用方法を学ぶことができる体験や、縄文時代の植生や生活に関する講座などを実施します。縄文時代について楽しく学ぶことができるプログラムです。

プロジェクトを構成する2つのプログラム

プロジェクトに参加しよう！

申し込みは、下表を確認の上、申込フォーム(右の2次元コード)または平日の開庁時間に電話で文化財保護課へ



	親子参加型	市民協働型	市民参加型
スケジュール	①10月～11月に採集したどんぐりをプランターに植え付け、令和8年6月にポットに植え替える ②その後、令和9年6月頃まで育成管理を行い、瀧沢石器時代遺跡の隣接地に仮植樹を行う ③育成管理期間中に、体験活用プログラムを随時実施する(年3回程度を予定)		
参加方式	全8種の堅果類の育成を、どんぐりの採集から行い、どんぐりを利用したさまざまな体験活用プログラムを行う。	史跡に植樹予定の全32種の樹種の育成を市文化財保護課職員と協働で行い、体験活用プログラムの試行や新たなプログラムの創造などを行う。整備後に継続して瀧沢石器時代遺跡の活用事業に関わることができる。	配布する2～3種類の堅果類を自宅で育成する。育成期間中は、文化財保護課主催の縄文時代に関する講座や体験活用プログラムに参加が可能となる。
対象	小中学生とその保護者	高校生以上	どなたでも
定員(抽選)	20組	10人	50人
参加料	無料 ※育成に必要なプランターと培養土は、文化財保護課から提供します		
申込期間	9月8日(月)～19日(金)		

特集 史跡瀧沢石器時代遺跡の保存整備

「みんなで縄文の森を育てよう」

「瀧沢石器時代遺跡」は、縄文時代の人々の営みを現代に伝える貴重な遺跡です。

遺跡の保存整備事業では、縄文時代の自然環境を復元し、市民とともに、「育てよう！縄文の森プロジェクト」を通じて、植樹や体験プログラムを実施します。これにより、縄文社会との共生を体験し、地域の歴史を深く学ぶ機会を提供します。

詳しくは、市ホームページ(ID=12507)または文化財保護課(TEL 522102)へ。

瀧沢石器時代遺跡の保存整備事業

赤城町見立・滝沢に位置し、縄文時代早期から晩期にかけての約8000年にわたり、集落や墓域、祭祀の場など、時期によってその性格を変えながら、人々に利用されてきた遺跡です。昭和2年に国史跡に指定されてから約100年間、地域の人々が保存に尽力し、現在まで大切に保護されてきました。



▼瀧沢石器時代遺跡の整備計画図

